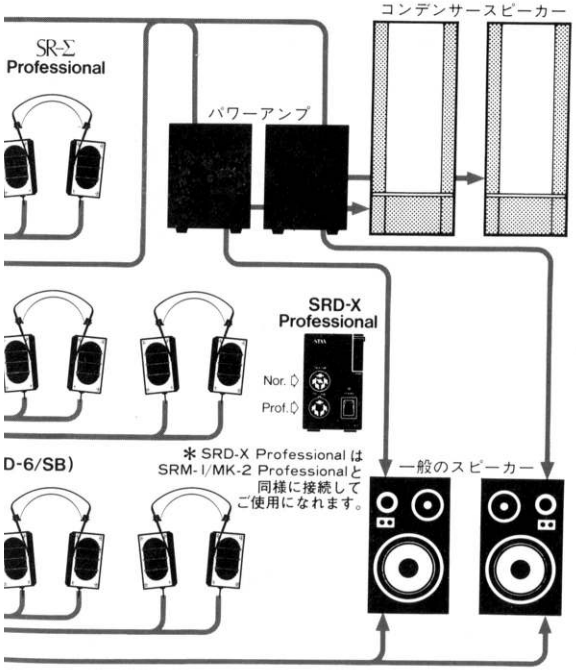
A SRA-14Sを使用する場合

SRA-14Sは、SRシリーズを最高の音質で駆動する目的で開発されたプリメインアンプですが、そのプリアンプ部はイコライザーを選択式にするなど、今後のオーディオの進む方向を先取りした高級な技術をもりこんだ最新のアンプで、単体の高級なプリアンプにも負けない音質を誇っています。イヤースピーカーとラウドスピーカーの切り換えはフロントパネルにあるスイッチひとつで行え、ラウドスピーカーにしたときは、イヤースピーカー用アンプが休止する様になっています。またイヤースピーカージャックは二つ有り、一つは標準タイプ、もう一つはPROタイプのイヤースピーカーが使用できます。



B SRM-1／Mk-2（Professional）又は SRD-X／Professionalを使用する場合

SRM-1/Mk-2は標準型イヤースピーカーが2台、同Professionalは標準型イヤースピーカーが1台、プロタイプが1台、同時に鳴らせるよう設計された専用ドライバーユニットです。出力段にカップリングコンデンサーを用いないDCアンプを採用し、透明度の高い音をお楽しみいただけます。接続は、ラインレベルの出力をもった機器でしたら何にでも接続可能で、プリアンプのREC-OUTほか、CDプレーヤー、チューナー、カセットデッキ、DATなどに直接、接続できるわけです。又SRD-X/ProfessionalはSRM-1/Mk-2 Professionalと同様にライン出力の機器に接続して使用します。

C 一般のステレオアンプにアダプターを接続する場合

お手持のプリメインアンプ、セパレートアンプ（プリアンプ＋パワーアンプ）、レシーバー（チューナー付プリメインアンプ）等のアンプを使用する場合は、アダプタ—SRD-7/Mk-2、(SRD-6/SB)をご使用ください。SRD-7/Mk-2は標準型 SR-Σ が一台とPRO仕様の SR-Σ が一台同時に使用できます。SRD-6/SBは標準型 SR-Σ 一台が使用できます。左図の様にアンプのスピーカー端子とスピーカーシステムの入力端子の間にアダプターを接続します。SR-Σ/SR-Σ Professional とスピーカーシステムをフロントパネルのツマミで切り換えて聴くことができます。

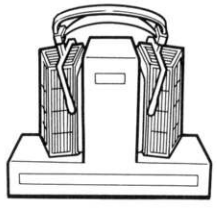
なお、SR-Σ と SR-Σ Professional の主な違いは

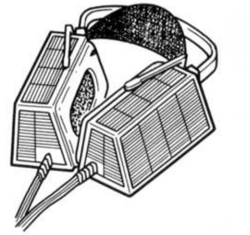
	SR-Σ	SR-Σ Professional
振動膜と固定極のギャップ	0.3mm	0.5mm
振動膜の厚み	2.0μm	1.0μm
標準バイアス電圧	230V	580V

となっています。

2 使用上の注意

●イヤースピーカーは高温多湿の場所は避けてください。
●歪感がないので、つい音量を大きくしがちですが、過大入力を加えないようご注意ください。音が割れるような場合は音量を絞ってください。
●振動膜は極薄のフィルムですから、外部からの不要な衝撃が加わらないようご注意ください。
●この SR-Σ/SR-Σ Professional は、精密部品で構成されていますので、分解は絶対にしないでください。分解による故障については保証いたしかねますので、ご承知おきください。
●発音部の開孔部にピン、針金等が入ることのないようご注意ください。
●ヘッドスプリングは通常の使用では折れることはありませんが無理に伸ばしたり、曲げたり、ねじったりしないでください。
●イヤースピーカーを使わないときでも、プラグを抜く必要はありません。
●イヤーパッドの清掃には、アルコールを軽く含ませたガーゼをお使いください。
●汗でお困りのとき、ガーゼを1～2枚パッドにあてがうと楽になります。
●イヤーパッドが古くなったり、破損したときは、別売の新しいパッドにお取替えください。
●付属のスタンドを使用しない場合は振動膜を保護するため、右下の図のように SR-Σ/SR-Σ Professional の発音部が下になるような置きかたをしてください。


●スタンドを使用する場合


●スタンドを使用しない場合